

講義名	経営情報分析		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	木村 敏夫		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 1時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	31058

### 主題と概要

経営情報分析は、学科目として「既存の枠組」みは存在しない。講義の目的は、「企業」（会社）の経済的意思決定（経済的資源配分）に求められる経営事象に対して合理的な判断を行う方法を学ぶ。受講生は、「課題」として配布される所与の経営事象に体现したデータから、各自が経営事象を判断する資料を作成し、結論を下す、ことを講義目標とする。

### 到達目標

企業の事業活動に関連して（定量・定性）「情報」（資料）、を主に、表計算（MS-Excel）の統計・財務・論理等の関数、分析ツール、ソルバー、What-ifを使用して数理的な処理を行い、回帰分析・時系列分析等を行い、加工し、評価し、企業の次年度予測値（見積損益計算書等に集約）等の資料を作成し、これに一定の結論を下す。

### 提出課題

講義時間内で毎回の課題（13から14回）を予定している。

### 評価の基準

出席（50％）と課題提出（50％）で評価する。但し、1）出席と2）提出回数双方を2/3を越えなければ単位認定はできない。また、各提出課題は、講義中以外は認めない。

### 履修にあたっての注意・助言他

学修には経営、財務、会計、統計、表計算（MS-EXCEL）の知識が前提となっている。単に「単位取得」を目的として履修することは避けるべきである。毎年、半数以上の履修者が途中放棄する。自ら、作業などをやらなければ結果はでないと考えてもらいたい。

### 教科書

### プリント資料及び参考文献

課題はポータルに開示する。処理方法の考え方はプリントを配布する。

### 授業計画

- 第1講 データ蒐集と分類
- 第2講 資本調達、返済計画と利率計算
- 第3講 資本調達、返済計画と利率計算
- 第4講 相関・回帰分析と予測
- 第5講 相関・回帰分析と予測
- 第6講 相関・回帰分析と予測
- 第7講 最適資源配分
- 第8講 最適資源配分
- 第9講 最適資源配分
- 第10講 財務情報と損益分岐点
- 第11講 販売価格、費用分解と費用削減
- 第12講 シナリオ登録と損益分岐情報
- 第13講 時系列、トレンド予測
- 第14講 ポートフォリオ：確率、分散不確実性下の投資決定計算
- 第15講 情報の検定

### 予習・復習

当然のことです。

### 備考

大学の講義は、学問・学科目を「理解する」のが目的・目標する。体系的な理解の後に、理解した知識をもとに、「考える」。これが「知恵」となる。知恵は自分でしか取得できない。与えられるものではない。学後知不足。学生は、「真似ること」から始める。真似るとは、「書き写す」ことではない。書き写すは、著作権違反という、りっぱな窃盗犯罪です。